

# たんぽぽ

## 認知症看護認定看護師として



認知症看護認定看護師  
藤本志織

はじめまして。認知症看護認定看護師の藤本志織です。

初めて聞かれる方も多いと思いますが、認定看護師とは、「特定の分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかること」を目的に、日本看護協会が認定しているものです。現在全国には約12000人の認定看護師(21分野)がいますが、認知症看護分野には343人の認定看護師が活躍しています。認知症看護分野は「認知症の各期に応じた療養環境の調整及びケアの構築、行動心理症状の緩和・予防」を主な役割としています。

現在、厚生労働省の発表によりますと、認知症高齢者数は462万人です。MCIという軽度認知障害(認知症ではないが、認知症に移行する可能性が高い状態)の人が400万人で、65歳以上の高齢者の4人に1人が認知症、または認知症予備軍であるといえます。人口の高齢化と急増する認知症高齢者に対し、国も認知症対策には力を入れていきます。

2012年の介護保険法改正においては、「高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営めるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される『地域包括ケアシステム』の構築に向けた取り組みを進める」とされ、現在も進められています。また、2013年より「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」を制定し、これまでの病院・施設を中心とした認知症施策を、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる在宅中心の認知症施策へシフトするこ

### たんぽぽ 第2号

平成26年 7月 1日発行



独立行政法人

地域医療機能推進機構

滋賀病院附属

介護老人保健施設

大津市富士見台16-1

TEL(077)537-3102

FAX(077)537-3629

### 利用者の状況

(1日平均)

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 入所 | 4月 | 93 | 3人 |
|    | 5月 | 88 | 4人 |
|    | 6月 | 93 | 5人 |
| 通所 | 4月 | 27 | 6人 |
|    | 5月 | 28 | 2人 |
|    | 6月 | 27 | 2人 |



とを目指しています。日本における認知症対策はいま、大きな転換期にあるといえます。

さて、「認知症」、「認知症」と先程から何度も出ていますが、そもそも認知症とはなんなのでしょう。答えは「認知症は病気」です。認知症は脳の不可逆的変化であり、それによって生じる症状(記憶障害など)が原因で起こる生活障害です。加齢による変化ではありません。そして認知症は徐々に進行していく中で、様々な症状が出現します。徘徊や妄想といった症状や、排泄に介助が必要になる事が大きく取り上げられており、世間では、まだまだ誤解や偏見のある病気だと私は感じています。しかし、認知症を持つ人自身は、自分の中に起こっている変化や、自分を取り巻く環境の変化に対応できず、混乱状態にあるという方が多くおられます。また、できていたことができなくなったり、自分には覚えのないことで人から批判されることもあります。だんだん分からなくなっていく自分に、私たちは想像もつかないような不安を抱えておられます。自分の変化に戸惑い、それを上手に表現することや、必要な助けを求めることも苦手になっていきます。

認知症が進行していくと、認知症を持つ人自身も周りの人たちも、介護を受けている現在の姿しか見えなくなっていくます。しかし、認知症を持つ人にも、子供のころや青春時代、仕事や子育てに励んでおられたころがありました。ご自分の生活スタイルや大切にしていること、楽しいと思っておられること、嫌なことなど、誰もが持つている大事な「自分」という部分は、認知症になっても持つておられます。それまで何十年と生きて来ておられる方なので、長い時間をかけて作り上げてこられたものです。徘徊などの症状だけがクローズアップされやすいですが、できない部分だけに支援をもらうことで、自分らしい生活を送ることや、残りの人生を自分らしく楽しむことも可能です。



その一方で、進行していく症状に対して介護量が増え、介護家族の負担が大きくなっていくことも、ご周知のとおりです。家族としては、数年、十数年と続く介護生活で、現在に疲弊し将来に悲嘆されることもおありでしょう。介護する側に立つと、一筋縄ではいかないのが認知症、といったところでしょうか。介護家族は、介護保険などの社会資源を活用し、家族としてだけではなく、ご自分の人生を生きていくことも大切であると言われています。

私は看護師になって以来、そのほとんどを介護老人保健施設に勤務しています。認知症ケアの最大の魅力は、我々の言葉やアプローチを工夫することで、認知症を持つ人ができないことができるようになったり、会話を楽しむことができるようになることであると考えます。私自身は、日常生活の中で、認知症を持つ人と一緒に笑うことが大好きです。これからも、認知症を持つ人の苦しみを少しでも減らすこと、認知症を持つ人にとって楽しいと思える時間を作ることを目標にして活動していきたいと思えます。また、認知症を持つ人の思いを伝え、認知症を持つ人を支える一員として、介護家族や他スタッフと連携していきたいと考えております。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。



四月二日・三日・四日・七日・八日・九日の六日間、お花見ツアーに出かけました。毎年、天気が良いなかった、まだ咲いていなかった、散ってしまったという状況が続いていました。しかし今年も天候にも恵まれ、五分咲きから散り始めというベストな時期に行けることが出来ました。

利用者様はお花見ツアーの日程が決まったら、とても楽しみにしていただき、「朝から待ってたんや」などと話されている方もおられました。出発し、すぐに食堂から見ていた滋賀病院の桜や、湖岸道路の桜、膳所公園の桜と移動中もたくさん桜を見ることが出来ました。桜だけでなく、住み慣れた大津の街並みの変化や、懐かしいお店などの話でも盛り上がりました。皇子山公園で一度車を止め、ドアと窓を開け桜の鑑賞。ジュースを飲みながら、視界いっぱい満開の桜をじっくり観賞していただきました。春風もとても気持ち良かったです。皇子山公園から次は琵琶湖疏水に行きました。疎水は通るだけでしたがみなさん感激され、「きれいや」と揃って言うておられました。施設に帰ってからや、数日経っても「桜きれいやったな」「今年は本当によかったな」などと言って下さいました。

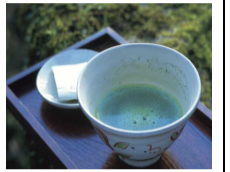
桜という一つの物を、一緒に過ごしている施設の利用者様同士、職員と一緒に、気持ちを共感できたことにも喜びを感じました。皆さんの目・笑顔がキラキラでした。素敵な思い出になりましたでしょうか？

寺田 有紀



## お花見ツアー

# お茶会



平年より三日早く、昨年より八日遅い梅雨入りが発表された六月四日、毎年恒例のお茶会が開催されました。一昨年までは野点として屋外での開催でしたが、梅雨の時期と重なり天候に恵まれなるときもありました。そんなことから昨年度より屋内での開催となり、リハビリ・レクリエーション室にデイサービスの利用者様の書道の作品や、きれいに生けられた花々が飾られた茶室が設けられました。

お茶会が始まると、高橋様の三味線とお箏の音色が会場を心地よく響きわたり、片岡宗文社中様の御手前でお茶と「初夏の風」というお菓子を頂きました。お菓子はいつも滋賀老健の食事を提供してくださっている日清食品さんの手作りです。片岡宗文社中様が一人一人に声をかけながらお茶を運んで頂き、いつもとは違うかしこまった表情を浮かべておられる入所者様を見てみると、失礼な言い方かもしれませんが、愛らしく心がほころびました。

季節を感じ、施設生活の中で少しでも楽しさを感じてもらえるようにと行事を行っておりますが、その行事もボランティア様の御協力があつてと大変感謝しております。本当にいつも有難うございます。

今後いろいろな行事で、皆様が元気に楽しく過ごして頂けますよう努力してまいります。

田附 朋美



# 四月お誕生日会

平成二十六年四月十六日(水)に一階のレクリエーションルームにて四月のお誕生日会が開かれました。

副施設長の挨拶の後、今回お誕生日を迎えられた四名の方が一人ずつ紹介されました。四名様の中で最高齢は九十三歳の方ですが、みなさんとてもお元気そうに見えます。そして一人ずつにメッセージカードが手渡され、みなさん嬉しそうにされていました。

その後、ボランティアのコールカサブランカ様による歌の披露が行われました。「夕方のおかあさん」や「お月さんと坊や」、「待ちぼうけ」、「ひばり」、「花は咲く」等合計8曲の歌を披露していただきました。どれも入所者様にとって、なじみ深い曲ばかりで、皆さんコールカサブランカ様と一緒に歌われていました。歌の披露が終わると入所者様から御礼の言葉を頂戴し、お誕生日会は終了となりました。今回お誕生日を迎えられた入所者様、本当におめでとうございます。

明吉 大記



# 五月お誕生日会

平成二十六年五月十四日(水)に五月の誕生日会を行いました。今月は七名の入所者様がお誕生日を迎えられ、最高齢の方は百歳を迎えられました。

そして誕生日の皆様の祝いにフラウ・フラウ・ウリロコの皆様に来て下さり、フラダンスを披露して下さいました。ウクレレの音色にのせてダンスが始まると、入所者の皆様は素敵なダンスに見とれておられました。

誕生日会が終わってからも皆様「綺麗やったなあ」等と大変喜んでおられました。フラウ・フラウ・ウリロコの皆様ありがとうございました。お誕生日を迎えられた入所者の皆様本当におめでとうございます。

橋本 匠



# 六月お誕生日会

平成二十六年六月十一日(水)にお誕生日会が行われました。

六月生まれの方は二名でそれぞれ九十八歳と一〇一歳に生まれました。おふたりともとても元気にお暮らしになっています。お元気でこの日を迎えられたことともうれしく思います。

今回は富士見幼稚園の園児のみなさんが来られ元気な歌声を聞かせて下さいました。入所者様はみんな目を細め手拍子をとって楽しんで園児さんとのひと時を過ごされていました。

富士見幼稚園の皆様先生方素敵な時間をありがとうございました。

奥村 鈴子



## 今後の行事予定

- 七月 二日(水)七夕祭り
- 七月 三十日(水)お誕生日会
- 八月 六日(水)納涼祭
- 八月 二十日(水)お誕生日会
- 九月 三日(水)お誕生日会
- 九月 十日(水)敬老会

どうぞお楽しみに